

診療支援部門 リハビリテーション技術科

患者さんの生活をよりよくするため
早期のリハビリテーション治療を提供

リハビリテーション部では患者さんの早期離床、早期機能回復を目標に、リハビリスタッフのみではなく、主治医・看護師など他部門とも協力して、理学療法・作業療法・言語聴覚療法・摂食機能療法の業務を行っています。

対象患者の主な疾患は脳血管疾患、神経・筋疾患、骨・関節疾患、内部疾患などであり脳外科・整形外科・外科・内科・救急科などの診療科からの依頼があります。処方された患者に対しては、可能な限り早急に対応するべく入院即日からの治療開始を原則にしています。

■ リハビリテーションの役割

理学療法	<p>早期離床、廃用予防、身体機能改善を目標に関節可動域・筋力強化訓練・歩行訓練などを実施しています。</p> <p>運動器疾患では変形膝関節症などの疾患の方が多く、特に人工膝関節置換術後のリハビリテーションには力を入れ、研究にも励んでいます。また、スポーツ障害、外傷に対してはその予防も視野に入れた治療ならびに研究活動を行っています。</p> <p>呼吸器疾患では、肺炎などの呼吸状態の低下している方や、人工呼吸器管理下の方に対し、排痰訓練などのリハビリテーションを行い、呼吸状態の改善に取り組んでいます。</p>
作業療法	<p>身の回り動作の自立を目標に、食事動作練習、更衣動作練習、排泄動作練習などを実施、指導しています。また、高次脳機能障害の方に対する評価・訓練を行っています。</p>
言語聴覚療法	<p>失語症や構音障害に対して、急性期から言語・構音検査、言語訓練、家族への指導を行っています。</p>
摂食機能療法	<p>ベッドサイドで摂食嚥下機能評価を実施し、経口摂取の適否の判断や飲みこむ力を判断しています。そして早期からの経口摂取を行うとともに、リハビリテーションをして口から食べられるようにしたり、誤嚥性肺炎を防いだりもしています。</p>

■ リハビリテーションの様子

歩く練習



手すりを用いた歩行訓練の場面です。脳卒中や運動器疾患の方で、十分な歩行が出来ない方が利用します。

手の運動



ペグボードという道具を用いた手の運動場面です。このような道具の他、輪投げや手芸などを利用して運動をすることもあります。

言葉の練習



カードを用いた言葉の練習場面です。脳卒中などで言葉の不自由になった方に対し、このような道具を利用しながらリハビリテーションを行っています。

関節運動のリハビリテーション



関節の可動域を拓げるためのリハビリテーションです。

リハビリテーション技術科では、新たな取り組みとして、がんの患者さんに対し、リハビリテーションを行なうため、研修を受けています。

(リハビリテーション技術科 日野 敏明)

今日のこんだて

栄養科

秋の味覚



日増しに寒さが加わり、すっかり涼しくなってきました。食欲の秋、美味しいものがたくさん実る季節です。日本には春夏秋冬、美しい四季があり、私達人間も植物と同じ気候風土、季節の中で生きています。ですから季節のもの（旬のもの）を食べることが最も自然なのです。

そもそも、なぜ食欲の秋というのでしょうか？

昔、人間は冬の時期になると食べ物が採れなくなるため生き延びるのに大変苦労しました。

そのため、エネルギーを蓄えようと本能的に食欲が湧いてしまうそうです。また、夏バテで低下した体力を回復させようと、すぐエネルギーに変わる甘い物を欲してしまうといえます。『食欲の秋』は『蓄えの秋』なんです。

今回は秋の食材 【さんま】 【さつまいも】 【きのこ類】 を使った料理をご紹介します。

さつまいもご飯

● 材料 4人分

● 作り方



- 米 ▶ 2合
- さつまいも(小) ▶ 1本(約200g)
- 酒 ▶ 大さじ 2
- 塩 ▶ 小さじ 2/3
- だし昆布 ▶ 5cm角
- 炒り黒ゴマ ▶ 適量

1. さつまいもは皮つきのまま1.5cm角に切り、水につけアクを抜く。
2. 炊飯器に米・酒・塩・だし昆布を加えてざっと混ぜ、さつまいもをのせて炊く
3. 炊き上がったら黒ゴマをふる。

きのこ汁

● 材料 4人分

● 作り方



- しめじ
- えのきだけ
- なめこ
- ミツバ
- だし ▶ カップ 3
- 酒大さじ ▶ 大さじ 1
- 薄口醤油 ▶ 大さじ 2

1. 鍋にだしを入れて中火にかけ、しめじ、えのきだけ、なめこを加え、火が通るまで煮る。
2. 1. に酒、薄口醤油で味を調え、火を止めてからミツバを散らす。

さんまの梅しそ揚げ

● 材料 6ロール

● 作り方



- さんま ▶ 3尾(切身6枚)
- 梅肉 ▶ 適量
- しその葉 ▶ 6枚
- 片栗粉 ▶ 適量
- 塩 ▶ 適量

1. おろしたさんまの水気をふき取り塩を振っておく。
2. 1. にしその葉をひき、その上に梅肉を平らにのせる。頭側から巻き、爪楊枝でとめる。
3. 片栗粉を全体に付け中火でゆっくり揚げる。

しかし現代では飽食の時代といわれ、生活習慣病も増加しています。

食べ過ぎに注意しましょう!!

検査機器

どんなときに使用するの？



最新鋭、最先端の高度医療機器を積極的に導入して、
予防・診療・治療の一貫した医療体制を整え、大きな効果をあげています。

患者さんが治療のために受診した際、検査で使用する機器を一部ご紹介します。皆さんもよく耳にするCT検査とMRI検査で使用する機器です。

X線CT（X線コンピュータ断層撮影装置）

頭頸部、胸部、腹部、心・血管、脊椎、四肢と、全身あらゆる部位の診断に用いられ、画像診断の主流となっています。



X線CTとは、X線を使って人体を1周するように撮影し、コンピュータ処理によって輪切り写真（断層画像）を得る装置です。

通常の診察やX線写真ではわからない、体の内部や細かな部位を描出することが可能です。さらに、高性能コンピュータ（ワークステーション）により、精緻な3次元画像を高速に作成することも可能です。

CT検査（参考画像）



断層画像



3次元画像

MRI（核磁気共鳴画像診断装置）

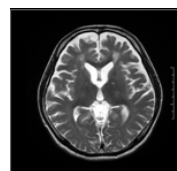
MRIとは、核磁気共鳴という物理現象を応用した画像診断装置です。大きな電磁石の中に入り、ラジオの周波数と同程度の電波を体に当て、反射して返ってくる微弱な電波をコンピュータ処理することによって輪切り写真（断層画像）を得る装置です。



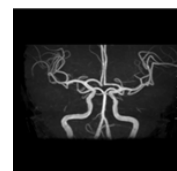
X線CTに比べ検査にやや時間（10分から1時間程度）がかかりますが、体への悪影響はほとんどなく、様々な角度の画像を作ることができ、X線CTとは異なる情報を得ることができます。

2012年5月より2台目として3テスラMRI装置による画像診断が始まっております。1.5テスラMRI装置より磁場強度が2倍になったため、高いSNR（高解像度）画像の撮影が可能となり細かな病変を撮影でき更に多彩な画像処理も行え、より高度な画像情報を得ることができます。

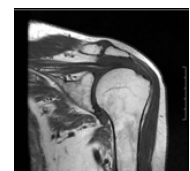
MRI検査（参考画像）



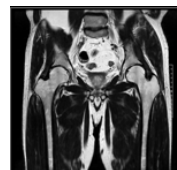
頭部



頭部血管



肩関節



股関節



腰椎



手関節

（放射線科 赤司 一義）

外来診療医師担当表

平成 26 年 10 月

済生会八幡総合病院 〒805-0050 北九州市八幡東区春の町 5 丁目 9-27 TEL 093-662-5211(代表)

○で囲んだ数字は、週を表します。

		月	火	水	木	金	土
総合診療科	新患	高山	田中	武岡	応援医師	高山	交代制
	再診	山本	高山	高山	高山	安増	
糖尿病内科		吉村 (午前)			応援医師 ①・③		
呼吸器内科			応援医師 (午後)				
肝臓内科					応援医師 (午後)	応援医師 (午前)	
リウマチ・膠原病		応援医師 (午前)		応援医師 (午前)		応援医師 (午前)	
循環器内科		応援医師	応援医師	安増		山本	
神経内科(物忘れ)						合馬 ①・③	
心療内科		応援医師 (午後)					
小児科	一般	宮川	宮川	交代制 応援医師	宮川	宮川	交代制
	予防接種		宮川		宮川		
	乳幼児検診		宮川		宮川		
専門外来 (小児科)	腎臓			応援医師 ②			
	神経			応援医師 ④			
	内分泌				応援医師 ④		
外科・消化器科	消化器外科	野本 吉永 本間 枝川	野本 植田	長谷川 吉永	野本 本間 枝川	長谷川 植田	交代制
	血管外科	本間			本間		
	呼吸器外科						応援医師 (午前)
	内視鏡検査	応援医師	大谷	大谷 神田(午後)	神田 大谷	赤星	
緩和ケア外来				北村 (午前)		北村 (午後)	
整形外科	進 兼川 谷口	松浦 進 松本	松浦 進 松本	兼川 谷口 松本	松浦 兼川 谷口		交代制
皮膚科	里村 大野	里村 大野	里村 大野	里村 大野	里村 大野		
泌尿器科	田中 塚原	高野 田中	応援医師 (午後手術)	高野 塚原	高野 田中		交代制
眼科	室屋 応援医師	応援医師 (手術日)	山口 室屋	山口 応援医師	山口 室屋 応援医師 (手術日)		交代制
耳鼻咽喉科	川端 応援医師	川端	川端	川端	川端 応援医師	川端 ①・③・⑤	
脳神経外科		岡本 藤村	岡本 藤村	梶原 駒谷	休診 (手術日)	梶原 駒谷	交代制
	初診	岡本	岡本	梶原		梶原	梶原・岡本
腎臓内科 腎臓外科(臓器移植)		安永	安永 大田	安永 ①③⑤ 大田 ②④	成清 (午前) 西原 (午後)		交代制 ①・②・③
歯科		尾崎	尾崎	尾崎	尾崎	尾崎	隔週 (ご確認ください)

■ 診療に関するご相談・紹介状をお持ちの方の受診予約
TEL 093-671-2339 (総合相談センター)

■ 再診予約の変更・問い合わせ (9:00-16:00 / 月一金)
TEL 093-681-7520 (外来診療予約センター)